

課題

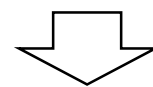
- 一人当たり医療費が高水準で推移する中、医療費の適正化を一層図ることが必要
- そのためには、きめ細やかな保健指導により、良好な健康状態を維持することはもちろん、慢性疾患の重症化を回避することが重要

求められる対応

- 国民健康保険の被保険者の特定健診やレセプトなどのデータを分析しながら、重症化リスクの高い方を抽出
- 効果が期待できる時期に、その方に合った有効な保健指導を行い、重症化を回避

現状

- 保健指導の主体となる市町村の多くは、データ分析に関するノウハウが十分でない。

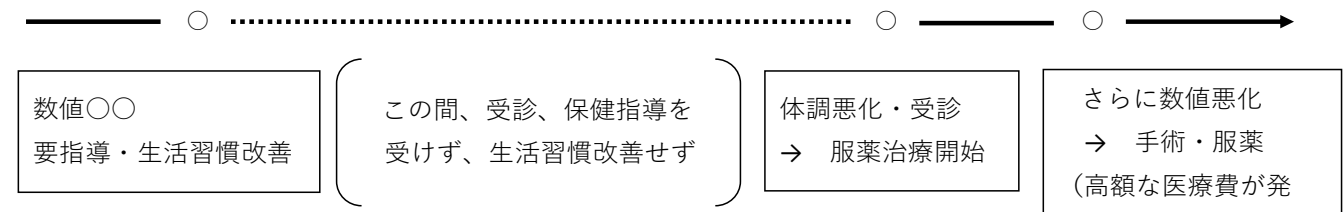


- 市町村の特定健診やレセプトなどのデータを詳細に分析し、重症化リスクの高い方の抽出や効果的な保健指導の手法等について、助言を行う専門家を市町村へ派遣するモデル事業を実施することとし、所要額を6月補正予算に計上
- 8月上旬に公募型プロポーザルを実施し、委託業者を選定
委託業者：株式会社データホライゾン
契約金額：6,578万円
- モデル市町村（9市町村）
南アルプス市、北杜市、笛吹市、市川三郷町、富士川町、富士吉田市、上野原市、道志村、富士河口湖町
※希望、医療圏域、医療費水準などを踏まえ、モデル市町村に設定

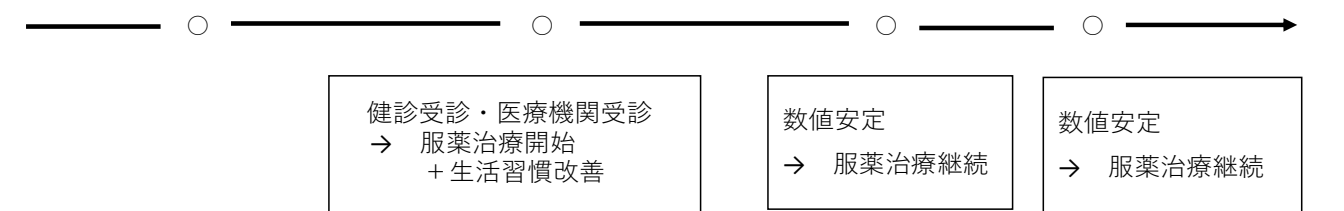
イメージ

高額な医療（心臓疾患等）を受けているAが過去どのような履歴があるか確認
→ こうすれば高額医療の回避が可能であったであろう条件を抽出
→ 現時点で同レベルであるBを重点指導対象者として抽出し、指導

A



B 【Aと同レベルの健康状態】



進捗状況等

- モデル9市町村の後期高齢者分も含めた健診、医療データを分析中
- モデル市町村の実態を把握し、最適な保健指導を組み立てるため、委託業者と県担当者がモデル市町村を訪問し、現状や課題などを聴取
【訪問時に市町村から出された課題等】
 - ・マンパワー不足、ノウハウ不足でデータ分析まで対応できていない。
 - ・対象者の優先順位付けや個々人の状況にあった指導・助言の必要性を強く感じる。
 - ・地区毎の特徴についても把握したい。
 - ・メタボ、腎臓病対策などの保健教室参加者が低下傾向にあり、関心を引きつける対策が必要
 - ・食生活の地域性から、塩分摂取量が多い傾向にあるが、どのような周知、対応を図ればよいか。
- データ分析の節目に合わせ、今後も定期的に市町村と打ち合わせを実施し、2月には最終的な成果品を提出する予定
- 合わせて、効果的な保健指導が全県化で展開できるよう、本事業により得られた成果については、医療圏域ごとの研修会を開催し、全ての市町村に説明